

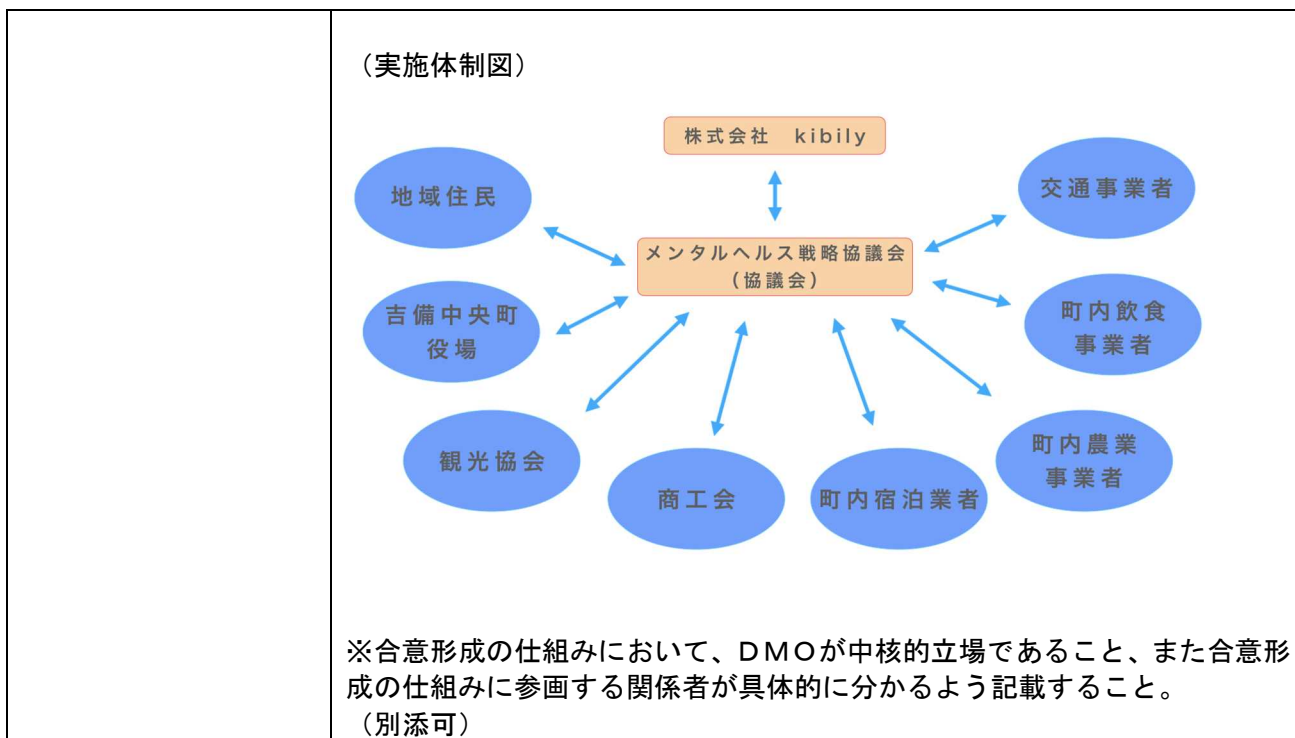
## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	株式会社 kibility	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	岡山県加賀郡吉備中央町内	
所在地	岡山県加賀郡吉備中央町内	
設立時期	2017年7月10日	
職員数	3人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	(氏名) 新免 琢弥 (出身組織名) 吉備中央町地域おこし協力隊員	2016年10月に吉備中央町地域おこし協力隊として赴任。中学生を対象とした町営塾の創設に寄与し、吉備中央町の地域おこし協力隊員のコンサルタント会社社員として担当マネージャーも務める。2016年から同町において、観光・農業振興等の分野で新規事業の立案と、マーケティングも担当。現在も地域おこし協力隊として活動している。
マーケティング人材	(氏名) 井上 ゆき美 (専従) (出身組織名) 吉備中央町地域おこし協力隊員	2014年10月に地域おこし協力隊として赴任。賑わい創出を主軸とした町おこし活動に勤める。2015年から「吉備中央マルシェ」という名で、若い世代の交流人口増加を狙った産直イベントの企画・運営を行っている。現在地域おこし協力隊を任期満了により卒業し、kibilityのマーケティング担当人材として観光事業のプロモーション等を行っている。
総務人材	(氏名) 田村嵐史 (出身組織名) 吉備中央町地域おこし協力隊員	2016年6月に吉備中央町地域おこし協力隊として赴任。移住定住を主軸とした町おこしの活動に努め、2017年から観光面を主軸に置いた活動を行っている。現在も地域おこし協力隊として活動している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	吉備中央町協働推進課（マーケティング、プロモーション） 農林課（農産物の国内外進出） 建設課（社会資本整備） 総務課（地域公共交通） 定住促進課（情報発信）	
連携する事業者名及び役割	【資源を活かした体験型旅行商品開発】 町内の体験できる観光地、吉備中央町観光協会 【地元の特産を活かした新たな商品開発】 商工会、農協、特産品発売店など	

(別添) 様式 1

	<p>【宿泊を前提としたツアーの開発】</p> <p>町内宿泊施設、吉備中央町観光協会</p> <p>【町内交通機関を利用したツアー開発】</p> <p>町内バス、タクシー事業者、吉備中央町観光協会</p>
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>(該当する要件)</p> <p>③ 日本版DMOが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される協議会等をDMOとは別に設置する</p> <p>株式会社kibilyが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される以下のような協議会を設置する。</p> <p>名称：吉備中央町メンタルヘルスタウン戦略会議（仮称） (H31年3月設立予定)</p> <p>目的：吉備中央町の進めるセラピー効果を前面に打ち出した滞在型観光の振興を目指し、総合的かつ戦略的に事業を推進するため所要の検討及び調整を行う。</p> <p>内容：行政、宿泊施設、交通事業者、観光事業者、金融機関、また、飲食店、体験メニューの提供を行う団体や農業者等の小規模事業者をも取り込んだ多様な関係者が参加し、戦略の内容や方向性について議論し、研究を深めることにより個々の事業との関係調整を行う体制を構築する。</p>
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>定期的に住民参加型の「町内向けツアー」や町民を巻き込んだ「町の未来を考えるワークショップ」、町民に活動を知らせる「報告会」を4か月に1回程度開催予定。</p>
法人のこれまでの活動実績	<p>(活動の概要)</p> <p>新法人設立のため活動実績はなし。</p>
実施体制	<p>(実施体制の概要)</p> <p>株式会社kibilyを中核に、行政、飲食業者、体験農園、交通事業者など多様な関係者が参画し、官民が密接に連携した運営を実施する予定。</p>



## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



(別添) 様式 1

【区域設定の考え方】

岡山県の中央部・吉備高原に位置する吉備中央町は、古くは大山道の街道沿線として、また、岡山池田藩の奥座敷として栄えた。しかし、公共交通の面から、観光業は不便な面があり、旅館が賑わった時代に比べて、町内観光業は繁栄しているとは言えない。他方、近年では、地域に飛来する渡り鳥ブッポウソウ（絶滅危惧種）を見に県外からの来訪者が訪れるなど、吉備中央町ならではの自然や体験を求めて少人数での旅行需要が高まりつつある。

県内主要観光地まで約一時間という程よい距離にあるという特性もあり、恵まれた自然の中で過ごしながらか、特色ある体験、食などをテーマに個性的なツアーを提案することで吉備中央町ファンを増やし、町内観光事業者の状況に合った再建を進めていきたい。

【観光客の実態等】

岡山県が実施する観光入り込み客数の調査では、吉備中央町に年間約 50 万人の来訪者を受け入れている。吉備中央町には「わっしょい和んさか吉備高原フェスタ」、「鬼伝祭」等、町外の人々との交流を目的とした大きなイベントもある。これらのイベントには毎回数万人の人々が来場しているものの、宿泊や商店など会場外への経済効果にはつながっていないという課題がある。宿泊施設数も少なく、また、町域に公共交通が少ないことから、来訪者はほぼ車の利用による日帰りとなっている。近年、「ブッポウソウ」の観察拠点の整備や農家民宿の開業などによって、体験活動を希望する個人や小グループの来訪者が宿泊を希望するケースが増加している。

カテゴリ	名 称
観光施設	道の駅かもがわ円城、道の駅かよう、アストロコテージガリレオ（宿泊型天体観測施設）、円城ふるさと村、岩倉公園（岡山県の中心地モニュメント）、片山邸、下加茂プレーパーク、鳴滝森林公園キャンプ場、吉備中央公園、お祭り会館、重森三玲記念館、天籟庵、友琳の庭、岡山乗馬倶楽部、きびの森植物園
自然	長丸の雲海、宇甘溪自然公園、ブッポウソウ・ニホンメダカ（絶滅危惧種）、名勝豪溪
温泉	小森温泉、湯の瀬温泉、鷺の巣温泉
歴史文化	吉川八幡宮、妙本寺
民俗	岡山県三大祭（加茂大祭、吉川八幡宮当番祭）、川合神社の夏祭りだし
食	米、ぶどう、円城白菜、ブルーベリー、梨、自然薯、ジビエ（猪）、まつたけ、まいたけ
スポーツ	ゴルフ、サイクリング、乗馬、グランドゴルフ
イベント	吉備高原都市さんさん祭り、大和山ハイキング、岩倉山ウォーキング、主

(別添) 様式 1

基田のお田植祭り、吉備高原鬼伝祭、案山子祭り、わっしょい和んさか吉備高原フェスタ、吉備高原車いすふれあいロードレース大会、大平山ハイキング、じねんじょ祭り

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

地区	ホテル			旅館			農家民宿			その他		
	軒数	部屋数	収容力	軒数	部屋数	収容力	軒数	部屋数	収容力	軒数	部屋数	収容力
加茂川	0	0	0	2	15	45	3	3	12	6	67	692
吉備高原	1	32	64	0	0	0	1	1	4	2	85	640
賀陽	0	0	0	1	7	21	4	4	16	0	0	0

※ その他は、宿泊型農業体験研修施設（加茂川）、国立吉備青少年自然の家、小森オートキャンプ場、小森キャンプ村、鳴滝森林公園キャンプ場、アストロコテージガリレオ、チロリン村、湯ノ瀬キャンプ場

【利便性：区域までの交通、域内交通】

空路利用 岡山空港から、車またはタクシーで約 30 分  
 JR利用 岡山駅から JR 伯備線で高梁駅まで約 1 時間、高梁駅からバスで約 30 分  
 高速道路利用 大阪（吹田 IC）から岡山道賀陽 IC まで約 2 時間 30 分  
 広島（広島東 IC）から岡山道賀陽 IC まで約 2 時間 30 分  
 高知（高知 IC）から岡山道賀陽 IC まで約 2 時間  
 米子（米子 IC）から岡山道賀陽 IC まで約 1 時間 30 分  
 一般道利用 岡山から車で約 1 時間  
 路線バス利用 岡山駅から中鉄バスで吉備高原都市まで約 1 時間

【外国人観光客への対応】

日本語が読めない観光客に向けて、観光ガイドシステム内での複数言語対応や看板の英語化など、受け入れ体制の充実及び外国人観光客にとっても魅力ある観光地づくりを進めていく。

外国語表記対応

- 吉備中央町ホームページ（英語、中国語簡体、中国語繁体、韓国語）
- 総合観光パンフレット（英語）

(別添) 様式 1

- セラピーリゾートタウン事業ホームページ（英語、中国語簡体、中国語繁体）
  - ・ 観光ガイドブック（英語、中国語簡体、中国語繁体）
  - ・ 観光案内アプリ（英語、中国語簡体、中国語繁体）

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	フェイスブック、インスタグラム、HP を利用し情報発信を積極的に行う。そして、そのリーチ数推移を集計する。
ウェブサイト、SNS サイトのユニークユーザー数、ページビュー数	観光情報を発信する主要ツールであるウェブサイトと SNS サイトの効果測定を行う。	ウェブマーケティングの専門家の支援を受けてデータ収集を行う。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施
旅行消費額（KPI 必須）	観光施策の評価、分析のための基礎資料とするため。	<p>主要観光スポットや施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査を実施するほか、宿泊施設との連携によりアンケート調査票を配布して収集する。</p> <p>&lt;調査項目例&gt; 町内での概算消費額を宿泊費、土産代、交通費、食事別などに分けて調査。</p>
延宿泊者数（KPI 必須）	観光施策の評価、分析のための基礎資料とするため。	岡山県、吉備中央町が収集しているデータによって把握する。宿泊施設と連携し、施設単位で調査する。
来訪者満足度（KPI 必須）	観光施策の評価、分析のための基礎資料とするため。	<p>主要観光スポットや施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査を実施するほか、宿泊施設と連携し、アンケート調査票を配布して収集する。</p>

(別添) 様式 1

リピーター率 (KPI 必須)	観光施策の評価、分析のための基礎資料とするため。	主要観光スポットや施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査を実施するほか、宿泊施設と連携し、アンケート調査票を配布して収集する。
観光入込客数	観光施策の評価、分析のための基礎資料とするため。	岡山県、吉備中央町が収集しているデータを活用する。

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通アクセスが良好 (岡山駅及び岡山市中心部へ車で約 60 分、岡山空港までは車で約 30 分、至近のインターチェンジ (賀陽 IC) まで車で約 10 分)。</li> <li>● 吉備高原都市を抱えており、町並みが整備されている。</li> <li>● 気候が穏やかで冬場も降雪量が少ない。</li> <li>● 温泉入浴施設がある。</li> <li>● 乗馬や体験農園などのアクティビティベースの観光資源がある。</li> <li>● 絶滅危惧種の生息地となっており、観察ができる。</li> <li>● 地域内に地震を起こす活断層が確認されていない。</li> <li>● 障害者と健常者が同じコースを使用して行われる、車いすロードレースがある (毎年開催)。</li> <li>● 宿泊型天体観測施設がある。</li> </ul>	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通によるアクセスが悪い。</li> <li>● 域内交通が十分に発達していない。</li> <li>● 宿泊施設の多くに老朽化が進み、後継者不足もある。</li> <li>● 広い町域に観光施設・スポットが分散している。</li> <li>● 食事や買い物を楽しめる商業施設が不足している。</li> <li>● 観光ガイドが少なく、その育成システムも不十分である。</li> </ul>
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域おこし協力隊が町の魅力づくりを牽引している。</li> <li>● 本事業に深く関わるサイクリング人口の増加が見込める。</li> <li>● 健康志向が強く、経済力もあるリタイア世代の増加。</li> </ul>	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町内で進む人口減少に伴う町内産業の担い手不足。</li> <li>● 岡山県全体の誘客力不足。</li> </ul>



(別添) 様式 1

<ul style="list-style-type: none"><li>● ストレスチェック制度の実施によるメンタルヘルスに対する全国的な意識の高まり。</li><li>● ふるさと納税による町の認知度の高まり。</li><li>● 町内産うるち米を原料とした米粉がハラル認証を取得し、イスラム圏の観光客の注目が集まる。</li><li>● 岡山市との連携でインバウンド事業を展開している。</li><li>● 岡山自動車道の4車線化の進展で山陰、四国、関西圏からの誘客が期待できる。</li><li>● 町内で活動するNPOが行う競走馬のリトレーニング事業に全国的な注目が集まっている。</li></ul>	
--	--

(2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 従業員の健康管理、特に、メンタルヘルスのサポートに積極的な法人</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 平成27年12月の労働安全衛生法の一部改正施行により「ストレスチェック制度」がスタートしたことにより職場における従業員のメンタル面の健康管理に注目が集まっている。吉備中央町内の企業で、このことにいち早く対応し、通常健康チェックに加えてメンタルチェックも行うことができる最新の医療機器を導入しているところがある。また、吉備中央町は恵まれた自然環境を活用した農業体験や自然観察などを通じた「癒やしのまちづくり」を進めている。吉備中央町において、従業員の健康管理に積極的な法人が、心身の健康診断を行うとともに、さまざまな自然体験を行い、従業員の健康確保に努めるという潮流をつくり出したい。</p>
<p>○第2ターゲット層 健康増進や体力維持に興味・関心を持ち始めた40代から60代までの男女</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 健康に関心を持ち具体的な行動を起こしている層は、すでに特定の嗜好性を持っていたり、利用しているサービス等があると考えられるため、その層に対して新たに訴求するサービスを開発することは難しい。一方で、関心は持っているがまだ具体的な行動を起こせていないという層にはアプローチの余地があると考えられる。また、本DMOの企画は電動自転車を利用した運動負荷の低い観光プログラムを柱の一つとしており、特に中高年層にとって魅力的なものであると考えている。健康増進や体力維持について、「なんとなく気になるな」、「やってみたいけどハ</p>

(別添) 様式 1

<p>一ドルが・・・」と及び腰になっている層にとって、本 DMO が提供するプログラムが「ここから始めよう」と思えるような参入障壁の低いものであることを PR していく。</p>
<p>○第 3 ターゲット層 都市圏での生活に息苦しさやストレスを感じている 20 代から 30 代までの男女</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 都市での生活にストレスを感じている若者にとって、吉備中央町が有する豊かな自然や人々の繋がり、本 DMO が提供する「癒やし」のプログラムは訴求力があると考えられる。第 1 ターゲット層とは全く異なる若い年代を強く意識したプロモーションを打つ。 特に 20 代から 30 代でストレスを感じている層は、自分のこの先の人生について不安や迷いをかかえているため、「新しい自分に出会う」や「自分に向き合う」といったキーワードを基に、心身のバランスを取り戻すことができる可能性を提示していく。</p>
<p>○第 4 ターゲット層 インバウンド観光客 (特に東南アジアのイスラム圏や台湾からの観光客)</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 2020 年の東京オリンピックを控え、国内に多くの外国人旅行者の来訪することが期待されているが、イスラム圏からの旅行者の食事や礼拝への対応が課題となっている。吉備中央町は、農業が盛んで特に稲作 (コシヒカリなど) を使用した米粉が 2014 年 8 月にハラール認証を取得した。イスラム教の教義では旅が重視されていることもあり、イスラム教徒の方々を対象にした、農業体験や自然体験のプログラムも整備していく。</p>

(3) コンセプト

<p>① コンセプト</p>	<p>自分だけのゆったりした時間や場所が見つかるまち、会いたくなる吉備中央町。</p>
<p>② コンセプトの考え方</p>	<p>「いまの生活にもっと余裕があればいいのに…」 そう思う人は少なくないと思います。余裕とは、ある人にとっては時間的なものかもしれないし、別の人にとっては金銭的なものかもしれません。</p> <p>多くの人が余裕をつくるためにまず取り組むのが「無駄をなくす」ということです。業務や家事を効率化し、生産性を高めて、より少ない時間で多くの成果を生み出すことで、余裕をつくる…。</p> <p>これは一見正解のように見えますが、むしろ無駄な時間という人生のなかの「余白」部分を切り詰めることで、心の余裕がなくなるというデメリットもあります。</p> <p>こうなると思考や行動の基準が「自分がどうしたいか」よりも、「ど</p>

	<p>うしたら効率的か」になり、心身ともに余裕がなくなり、自分を追い詰めて心身の健康を害するということもあり得ます。</p> <p>都心部で暮らす人々が、そこでの仕事や生活を続けながら「効率優先思考」をリセットすることは難しいでしょう。日常の生活から、空間的にも精神的にも切り離されて時を過ごすことで、思考のリセットは可能になります。</p> <p>吉備中央町には、都心部にはない豊かな自然があり、穏やかな地元の人々がおり、心身を癒やすさまざまな観光資源があります。</p> <p>その中で時を過ごすことによって、仕事や生活に追われる中で失われていた「余白」を取り戻し、自分を見つめて、日常に戻るための英気を養ってもらいたいと思います。</p> <p><b>【コンセプトストーリー】</b> --「余白」って、どこにあるんだろう。--</p> <p>「ああ、最近息つく暇もないな。」 せわしなく人とモノが動き、眠らない街。 “やること”に追われて、 自分の“やりたいこと”が どんどんとなくなっていく。</p> <p>時間が有限だとはわかってはいたけど、 こんなに目一杯だったっけ？</p> <p>「この仕事は俺が引き取るから、休めよ」 上司の配慮で、ぽかっとできた休日。 いつもの日常から離れて、たまたま見つけた 別の日常がある「まち」に足を運んでみた。</p> <p>この「まち」では、時がゆっくりと流れる。 空気がいいからその辺りを散歩しようか。 天気がいいから自転車で少し遠くまで行ってみようか。 時計を気にしなくても良い、何をしても良い。</p> <p>「ああ、きてよかった。」</p>
--	--

(別添) 様式 1

	<p>気づいたら、身も心も軽くなっていた。</p> <p>この「まち」では、自分の内から 自然と出てくる声に従って良いんだ。 息がつまりそうな日々の中で、 大切なことを少し忘れていたかもしれない。 わたしはまたこの「まち」に来るだろう。 余白を探しに、自分らしさを探しに・・・。</p> <p>--自分だけのゆったりした時間や場所が見つかるまち、会いたくなる 吉備中央町。--</p>
--	--

**5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション**

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMOを中心として、吉備中央町協働推進課と連携しながら地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を4か月に1回程度設けるとともに、関連事業者に対して観光地域づくりのコンサルティング等を実施することにより、目的を共有しながらお互いの関連性を深めていく。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	モニターツアーの実施とそのツアー参加者へのアンケートを実施し、企画をブラッシュアップして、本ツアーを実施する。また、連携する吉備中央町の協働推進課とともに観光客を対象とする調査を実施する。
一元的な情報発信・プロモーション	DMOがウェブサイト運営、広報媒体の制作、各種プロモーションイベントの企画立案を一元的に行い、ステークホルダーとの調整を行う。

**6. KPI (実績・目標)**

(1) 必須KPI

指標項目	単位	年(度)	年(度)	年(度)	年(度)	年(度)	年(度)
●旅行消費額		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●延べ宿泊者数		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●来訪者満足度		( )	( )	( )	( )	( )	( )

(別添) 様式 1

●リピーター率	( )	( )	( )	( )	( )	( )
---------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※ 上記項目については、当地域では調査実績がないことから、法人設立後 2018 年度中を目処に調査を実施し、目標値を設定する。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**

表の下に記載したとおり、2018 年度を目処に調査を実施し、目標値を設定する。

**【設定にあたっての考え方】**

●旅行消費額

吉備中央へ旅行として来町する際に購入した物品、来町して購入したものなども含めて観光客にアンケートを実施し積算して計上する予定。

●延べ宿泊者数

観光ツアーや祭りなど町の行事において、宿泊施設に宿泊した観光客の数を調査し積算して計上する予定。

●来訪者満足度

販売した観光ツアーごとに参加者全員に事前に作成したアンケートに記入をもらい、満足度を確認する。複数項目を記載することで満足度を多角的に評価する予定。

●リピーター率

毎回の観光ツアーでアンケートを実施することで、リピーター率を調査する予定。

(2) その他の目標

指標項目	単位	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
独自観光企画	本	2	5	5	5	7	7
回数	回	5	10	15	20	20	20

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

**【検討の経緯】**

観光ツアーの開発及び実施の回数を増やすことで、観光客の数を増やす。

**【設定にあたっての考え方】**

●独自観光企画

今年度は立ち上げということもあり、観光ツアー作成にかかる工数を確認しながら開発する。

来年度からは、その工数をより圧縮し、効率よく最適なエリアごとの観光ツアー開発を行っていく。

更に実施については、今年度の実施（告知及び集客）の工数を確認したうえで、来年度以降は効率よく最適なツアー実施が実現できるようにブラッシュアップし実施回数増につなげる。

数値設定に当たっては、吉備中央町で観光に適した時期 3 月～12 月に月 2 回観光ツアーを実施することを目標に設定した。町の目標値では観光入込客数 20%増であるため、増加をねらう上で効果的な観光ツアー商品化を独自で目標設定した。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

## (1) 収入

年度	総収入 (千円)	内訳
平成 29 年度	11,500 (千円)	10,000 千円【行政からの補助金】 500 千円【観光ツアー料金収入】 1,000 千円【レンタル機材・用品使用料】
平成 30 年度	11,500 (千円)	10,000 千円【行政からの補助金】 1,000 千円【観光ツアー料金収入】 2,500 千円【宿泊施設等運営収入】 2,000 千円【レンタル機材・用品使用料】
平成 31 年度	7,500 (千円)	2,000 千円【観光ツアー料金収入】 3,500 千円【宿泊施設等運営収入】 2,000 千円【レンタル機材・用品使用料】
平成 32 年度	8,500 (千円)	3,000 千円【観光ツアー料金収入】 3,500 千円【宿泊施設等運営収入】 2,000 千円【レンタル機材・用品使用料】

## (2) 支出

年度	総支出	内訳
平成 29 年度	10,000 (千円)	【モニターツアーの展開とブラッシュアップ事業】 ・観光資源の発掘とツアー商品開発費 2,000 千円 ・モニターツアーの展開とブラッシュアップ費 2,000 千円  ・起業のための人材育成費 1,000 千円 ・ガイドシステム整備費 2,000 千円 ・サイクリング自転車整備費 3,000 千円  (参考) 町が実施する事業 【癒やしのサイクリングロード整備事業】 ・駐輪場整備工事費 4,000 千円
平成 30 年度	10,000 (千円)	【観光商品開発及びガイドシステム拡充事業】 ・外部専門家等コンサルタント 3,000 千円 ・ガイドシステム整備費 2,000 千円 ・起業のための人材育成費 3,000 千円

(別添) 様式 1

		・ホームページ更新経費 2,000 千円
平成 31 年度	7,500 (千円)	【観光ツアー開発及び維持費】 ・人件費 4,000 千円 ・自転車整備費 3,000 千円 ・広告費 500 千円
平成 32 年度	7,500 (千円)	【観光ツアー開発及び維持費】 ・人件費 4,000 千円 ・自転車整備費 3,000 千円 ・広告費 500 千円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- 1 旅行業の資格を取得し、着地型観光の企画や商品化を進め資金の醸成に努める。
- 2 吉備中央町、吉備中央町観光協会から施設の管理や観光関連業務の委託を受け、事務手数料を活動資金とする。
- 3 国、県等の補助・支援制度を活用し、事業展開の資金的土台とする。
- 4 観光集客力の向上を図ること、また、事業者との協働による観光商品の開発や販路開拓等で、収益から事業者負担の確保に繋げる。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

吉備中央町は、株式会社 kibily を吉備中央町における地域 DMO として登録したいので、株式会社 kibily とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	新免琢弥
担当部署名 (役職)	吉備中央町エリアマネージャー
所在地	東京都台東区上野桜木 1-14-21 高遠レジデンス上野桜木 B 1
電話番号 (直通)	090-7998-4426
FAX 番号	
E-mail	shinmentakuya693@gmail.com

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	岡山県 吉備中央町
担当者氏名	大月道広
担当部署名 (役職)	協働推進課 (主幹)
所在地	岡山県加賀郡吉備中央町豊野 1-2
電話番号 (直通)	0866-54-1301 (内線 1502)
FAX 番号	0866-54-1311
E-mail	kyoudou@town.kibichuo.lg.jp

都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名 (役職)	
所在地	
電話番号 (直通)	
FAX 番号	
E-mail	

都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名 (役職)	
所在地	
電話番号 (直通)	
FAX 番号	
E-mail	



【区域】 岡山県加賀郡吉備中央町

【設立時期】 平成29年7月10日

【代表者】 地域おこし協力隊  
新免琢弥

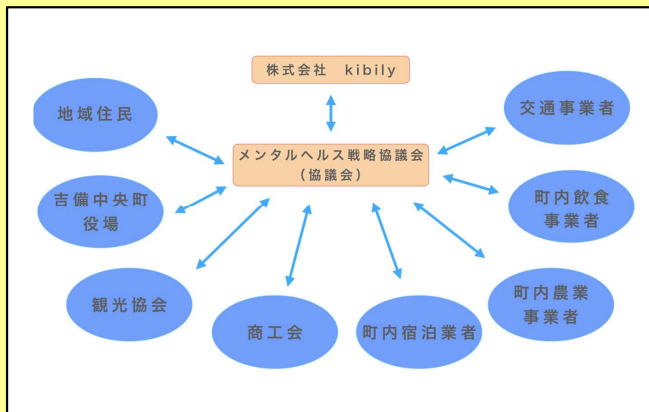
【マーケティング責任者】  
地域おこし協力隊  
井上ゆきみ

【職員数】 3名

【連携する主な事業者】

吉備中央町役場、観光協会、吉備中央町商工会  
町内関連事業者、地域住民

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標))※( )内は外国人に関するもの

	年(度)	年(度)	年(度)	年(度)	年(度)
旅行消費額	( )	( )	( )	( )	( )
延べ宿泊者数	( )	( )	( )	( )	( )
来訪者満足度	( )	( )	( )	( )	( )
リピーター率	( )	( )	( )	( )	( )

※ 上記項目については、当地域では調査実績がないことから、法人設立後2018年度中を目処に調査を実施し、目標値を設定する。

### 観光施設に関する取組を記載

誘客の一つの手段として、観光地を電動アシスト自転車で巡るツアーやレンタルサイクルを行い、新しい客層の開拓を図る。インバウンドの受入に向けてARアプリやSNSを活用した観光地紹介の仕方を充実させ、町内の食や特産品を積極的にPRしながら集客の増加を図る。また、周辺市町の観光地とも連携したツアーを充実させ、町内の宿泊施設と連携した取り組みにより滞在型観光の実現につなげる。

### 自然に関する取組を記載

町内には、標高300mの高台から眺める長丸の雲海や、春は山桜に新緑、夏は川遊び、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の自然を満喫できる宇甘溪自然公園、中天にそびえ立つ奇岩絶壁のいかつい岩石美と清流の調和した渓谷が見せる自然美が特徴の豪渓などがある。また絶滅の危機にある種として町内全体で保全活動に取り組んでいるブッポウソウ・ニホンメダカも見られ、これらをPRするためにガイドを育成し観光ツアー化をはかることで、これらの地域資源を最大限に活用した魅力ある観光を実施する。

### 文化に関する取組を記載

寄宮祭として、960年の伝統を誇り厳格な規則にのっとり今なお盛大に神事が行われている加茂大祭、また、約1か月続く祭礼で、当番の子供が神人となり古式にのっとり神事を行う吉川八幡宮当番祭はどちらも県の指定重要無形民俗文化財であり、県下三大祭にでもあります。ほかにも妙本寺は、鎌倉末期に創建された古刹で西見延とも呼ばれ日蓮宗の西国布教の拠点となったところです。これらを生かしながら、インバウンド獲得の仕組みづくりを積極的に行っていきます。

### イベント、商業施設に関する取組を記載

町の魅力を紹介するイベントとして、大和山、岩倉山、大平山の3か所でハイキングが楽しめます。町の中央部に位置する吉備高原都市では春野菜満載のさんさん祭り、花火が魅力の鬼伝祭、町内の農産物・特産品満載のわっしょい和んさか吉備高原フェスタ、とろろ芋の仲間では一番の味わいと言われるじねんじょ祭りなどが行われます。これらと、町内の農産物直売と地元料理が楽しめる道の駅や青空市と連携し、地域経済の活性化と町の賑わいづくりを促進していきます。

